

作成日 : 2020/10/6

改訂日 : 2022/7/19

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品名称 : O A T イオウフロアブル
供給者の会社名称 : O A T アグリオ株式会社
住所 : 東京都千代田区神田小川町 1-3-1 NBF 小川町ビルディング 8 階
担当部署 : 品質保証室
電話 : 088(684)0220
電子メールアドレス : sds_info@oat-agrio.co.jp
緊急連絡先電話番号 : 03(5283)0251 (本社)
使用上の制限 : 農薬 (殺虫・殺菌剤)
整理番号 (SDS No.) : OAT10020α1-2

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

引火性液体 区分に該当しない

自然発火性液体 区分に該当しない

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 1

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 区分 1 (呼吸器)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) 区分 1 (呼吸器、消化器)

環境に対する有害性

水生環境有害性 長期 (慢性) 区分 3

* 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外、区分に該当しない、または分類できない

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H318	重篤な眼の損傷
H370	呼吸器の障害
H372	長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、消化器の障害
H412	長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

【安全対策】

ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260)

取扱い後手をよく洗うこと。(P264)

この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。(P270)

必要なとき以外は環境への放出を避けること。(P273)

保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)

【応急措置】

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)

ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。(P308+P311)

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。(P314)

【保管】

施錠して保管すること。(P405)

【廃棄】

内容物／容器は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する（地方公共団体が処理を行っている場合には、地方公共団体に委託する）こと。(P501)

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 : 水和硫黄剤

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号	安衛法番号
硫黄	52.0	7704-34-9	-	-
ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル	3.0	84133-50-6	(7)-97	-
非晶質シリカ	0.4	112945-52-5	(1)-548	既存物資
水、界面活性剤等	残量	-	-	-

4. 応急措置

吸入した場合

空気の清浄な場所に移動させ、必要があれば医師の診察を受ける。
必要があれば酸素吸入を行う。

皮膚に付着した場合

可能であれば衣服等を脱ぎ、製品が付着した部分を流水と石けんを用いて十分に洗浄する。
刺激等の異常が認められる場合には、医師の診察を受ける。

眼に入った場合

速やかに流水にて 15 分間以上の洗浄を行う。
コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄を続ける。
刺激等の異常が認められる場合には、眼科医の診察を受ける。

飲み込んだ場合

水で口腔内を洗浄する。
被災者に意識のない場合には、口から何も与えてはならない。
速やかに医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

粉末消火剤、炭酸ガス、泡消火剤、水

使ってはならない消火剤

データなし

火災時の特有の危険有害性

加熱された容器は、破裂するおそれがある。
火災によって刺激性、腐食性及び／又は毒性のガスが生じるおそれがある。

特有の消火方法

消火作業は、風上から行う。
火災時には初期消火に努める。
周辺火災の場合であって、何ら危険性を伴わない場合には、火災延焼のない安全な場所に移動させることが望ましい。移動できない場合には、容器とその周辺に散水して冷却させる。
放水による消火の場合、本品を高濃度に含有する液が河川等に流出しないように注意が必要である。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

必ず自給式呼吸器及び状況に応じた適切な保護具を着用し、安全な距離から消火作業を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置参照）を着用し、風上で作業する。
屋内で漏洩した場合には、回収作業中と作業後に換気を行う。

環境に対する注意事項

河川等に排出されて環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

危険でなければ、漏れを止める。

回収後の少量の残留分は土砂又はおがくず等に吸収させる。

大量に漏洩した場合には、盛土で囲って流出拡大を防止し、可能な限り回収する。

漏洩物は元の容器には戻さず、適切な容器に回収して廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

的確な工業衛生管理に則った換気及び清掃を実施する。

安全取扱い注意

取扱い時には、ばく露防止のために適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置参照）を着用する。

用途以外に使用しない。

接触回避

皮膚や眼との接触は避ける。

作業後には直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをする。

衛生対策

作業着は再使用の前に洗濯する。

保管

安全な保管条件

密栓し、換気のよい冷暗所で保管する。

安全な容器包装材料

包装、容器の規制はないが密封式の破損しないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度及び許容濃度

情報なし

設備対策

工業衛生管理に則った換気及び清掃を実施する。

本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。

保護具

呼吸用保護具 : 防護マスク

手の保護具 : 耐食性かつ不浸透性の手袋

眼、顔面の保護具 : 保護ゴーグル、保護面

皮膚及び身体の保護具 : 不浸透性の保護衣、長靴

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

液体

色

淡黄色

臭い

データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲

データなし

可燃性

なし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

データなし

引火点

データなし

自然発火点

常温で空気と接触しても自然発火しない。

分解温度

データなし

pH

9.3

動粘性率

864 mPa・s（粘度）

溶解度

データなし

蒸気圧

データなし

密度及び/又は相対密度

1.41

相対ガス密度

データなし

粒子特性

データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

データなし

化学的安定性

通常の保管条件においては安定。

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

データなし

混触危険物質

データなし

危険有害な分解生成物

燃焼すると有害ガスが発生する可能性がある。

11. 有害性情報

急性毒性

LD₅₀ 値（経口） : >2000 mg/kg（雌ラット）（中毒症状および死亡例無し。）LD₅₀ 値（経皮） : >2000 mg/kg（雄雌ラット）（中毒症状および死亡例無し。）

皮膚腐食性/刺激性

軽度刺激物（適用終了 9 日後に刺激性変化消失）（ウサギ）

（GHS の皮膚刺激性の判定基準に該当しない。）

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

類似製品が区分 1 に分類されることから、本剤も区分 1 とした。

製剤原液： データなし。

製剤の 300 倍希釈液： 無刺激物（ウサギ）

参考資料： 中等度～重度の刺激性（ウサギ）（類似品のデータ）

呼吸器感作性

製剤のデータなし

皮膚感作性

陰性（モルモット、Buehler 法）

生殖細胞変異原性

製剤のデータなし

発がん性

製剤のデータなし

生殖毒性

製剤のデータなし

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

区分 1（呼吸器）に分類される硫黄を区分 1 の濃度限界である 10%以上含有するため、区分 1（呼吸器）とした。

毒性未知成分量は 12.0%。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

区分 1（呼吸器、消化器）に分類される硫黄を区分 1 の濃度限界である 10%以上含有するため、区分 1（呼吸器、消化器）とした。毒性未知成分量は 6.6%。

誤えん有害性

製剤のデータなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

LC₅₀（96 時間） : 177 mg/L（コイ）EC₅₀（48 時間） : 136 mg/L（オオミジンコ）ErC₅₀（0-72 時間） : 745 mg/L（緑藻（*Pseudokirchneriella subcapitata*））

コイ、オオミジンコ、緑藻の毒性データより区分に該当しないとした。

水生環境有害性 長期（慢性）

慢性区分 1 に分類される成分含量及びそれらの毒性値から推定し、区分 3 とした。

毒性未知成分は 63.0%。

残留性・分解性

製剤のデータ無し

生態蓄積性

製剤のデータ無し

土壌中の移動性

製剤のデータ無し

オゾン層への有害性

製剤のデータ無し

13. 廃棄上の注意

法、条例等に従って安全に処理する。または産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。
空容器を廃棄する場合、内容物を使い果た後、3 回以上洗浄し適切に処理する。洗浄液は河川、下水等水系に流さないようにする。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

非該当

国内規制がある場合の規制情報

非該当

15. 適用法令

農薬取締法

登録番号 第 23642 号

毒物及び劇物取締法

非該当

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 1 号、第 2 号・別表第 9）：硫黄（2025 年 4 月 1 日以降）

名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 第 1 号、第 2 号・別表第 9）：硫黄（2025 年 4 月 1 日以降）

化学物質管理促進法（PRTR）

第 1 種指定化学物質（法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条別表第 1）：ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル（アルキル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合物に限る。）

16. その他の情報

参考

日農イオウフロアブル SDS（日本農薬株式会社、2022/5/23 改訂（V.10AB））

連絡先

製品に関する問い合わせ先：コールセンター0120-210-928

中毒に関する緊急問い合わせ先：公益財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民専用電話 (情報提供料：無料)	医療機関専用有料電話 (情報提供料：1 件 2000 円)
大阪 (365 日、24 時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365 日、9～21 時対応)	029-852-9999	029-851-9999

責任の限定について

安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考情報として、当該製品を取扱う事業者には提供されるものであって、安全を保証するものではありません。ここに記載された数値は、規格値や品質を保証する数値ではありません。

この安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、当該製品に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。

当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の実状に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、この安全データシートを活用されるようお願いいたします。